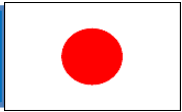




日・ブルキナファソ共同声明(主要点)



外務省アフリカ第一課

1 総論

- 自由、民主主義、法の支配及びグッド・ガバナンスの尊重といった普遍的価値に基づく友好協力関係の着実な進展を歓迎。
- 大統領は、TICADプロセスを通じた、アフリカ開発における日本の多大な貢献のための取組を称賛。TICAD7への参加を伝えるとともに、TICAD7の成功に向けた協力の決意を再確認。

2 二国間関係の強化

- 大統領は、ブルキナファソ及びサヘル地域への日本からの支援及び協力に謝意を表明。安倍総理は、テロ及び暴力過激主義との戦いにコミットすることを改めて表明。
- 以下を含む協力に言及。
 - (1) 食糧援助に関する交換公文の署名、(2) 技術協力協定の署名、
 - (3) 教育及び人材育成(学校建設、ABEイニシアティブ等)
 - (4) サヘル地域への支援、(5) 青年海外協力隊の活動、
 - (6) 西アフリカ「成長の環」の促進(タンソバ・バイパス道路改善計画及びグンゲンーファダングルマ間道路整備計画)
- 両首脳は、ビジネスフォーラムの開催に満足の意を表明。また、両国間の貿易及び投資促進のための取組を強化する決意を確認。大統領は、日本企業の投資を促進するため、投資に有利な環境を創出する意図を表明。

3 国際場裡での協力

【海洋安全保障】

- UNCLOSを含む法の支配に基づく自由で開かれた海洋秩序の維持へのコミットメントを改めて表明。
⇒ 航行及び上空飛行の自由、阻害されない通商、非軍事化、自制並びに国際法の尊重に基づく、外交的及び法的プロセスの完全な尊重を通じた紛争の平和的解決の重要性を強調。
⇒ 東シナ海及び南シナ海の状態について深刻な懸念を再確認。現状を変更し、緊張を高め得るあらゆる一方的な行動に強い反対を表明。
⇒ ギニア湾海域における海賊・強盗事案の増加を懸念。海賊、違法漁業への対応を含め、海上の安全に関する協力を推進する重要性を再確認。

【積極的平和主義】

- 安倍総理から国際協調主義に基づく「積極的平和主義」について説明。大統領は日本の安全保障政策の意義及び取組を賞賛。

【北朝鮮】

- 北朝鮮による大量破壊兵器及びあらゆる射程の弾道ミサイルの完全な、検証可能な、かつ不可逆的な廃棄という国際社会の目標を達成するためのコミットメントを再確認。両首脳は、北朝鮮に対し、非核化に向けた具体的な措置を講じることを求めると共に、関連する安保理決議の完全な履行へのコミットメントを再確認。
- 拉致問題の即時解決の重要性を強調。

【国連安保理改革】

- テキスト・ベース交渉の早期開始のため、政府間交渉を進める必要性を強調。改革の早期実現に向け、関係するグループ間での対話を継続する重要性を確認。日本とアフリカ諸国との間の対話継続の重要性を再確認。日本の常任理事国入りへのブルキナファソの支持に謝意を表明。

【その他の協力】

- 「持続可能な開発のための2030アジェンダ」及び「アジェンダ2063」に従った協力を確認。
- 2020年のNPT運用検討会議、CTBTの早期発効促進に向けた緊密な協力を確認。
- 気候変動を含む地球規模の課題に取り組む必要性を再確認。COP24に向けた協力を表明。
- 大統領は、2025年国際博覧会選挙において大阪を支持することを決定したと伝達。